

ANIMAL FACTORY AMPLIFICATION

# OZYMANDIAS



ユーザーマニュアル

はじめに.....	3
特徴.....	3
基本情報 .....	4
電源 .....	4
入出力 .....	4
コントロール.....	5
ノブ .....	5
ルーティング : SERIES .....	6
ルーティング : Parallel.....	7
ルーティング : 使い方のヒント .....	9
ルーティング : 使い方のヒント .....	10
MIDI インプリメンテーション .....	11
お手入れ.....	11
技術仕様.....	12
ヒストリー .....	12

## はじめに

この偉大なるサウンドを聞き、体験してみてください。Ozymandias は、2つのペダルが融合したエフェクターです。一看すると、Ozymandias はシンプルなスタックオーバードライブでありながら、豊富な使用オプションを提供します。比類なきヘッドルームを持つクリーンブーストから、感情的なクランチまで、あらゆるニーズに対応できます。

内部の電圧増倍機能により、Ozymandias は通常の 9V ペダル電源で動作するほとんどのオーバードライブペダルよりもはるかに広いヘッドルームを提供します。ゲインを絞った状態でも、このペダルは演奏のダイナミクスに非常に敏感に反応し、思い通りのニュアンス豊かな演奏を実現します。

## 特徴

Ozymandias には、トポロジーとコントロールは同一ですが、トーンとボイスが異なる 2 つの独立したオーバードライブ回路が搭載されています。

FLAIL チャンネル(右側、赤色 LED)は中音域に重点を置いたボイスで、ドライブ感とコンプレッション感がより強くなっています。この中高域のボイスは、ほぼあらゆる楽器のミックスに埋もれることなく、際立ちます。

CROOK チャンネル(左側、青色 LED)は、豊かで厚みのあるサウンドと、アンプのようなボイスを誇ります。このチャンネルは、よりダークでスモーキー、粒立ちが良く、低音域も力強いです。

両チャンネルに GAIN、TONE、VOLUME コントロールを搭載。より繊細なテクスチャーコントロールのために、各チャンネルにはハードクリッピング (GRIND) とソフトクリッピング (GRIT) の 3 ウェイスイッチと、ベースブースト (RULE/CONQUER) の 2 つのスイッチが搭載されています。

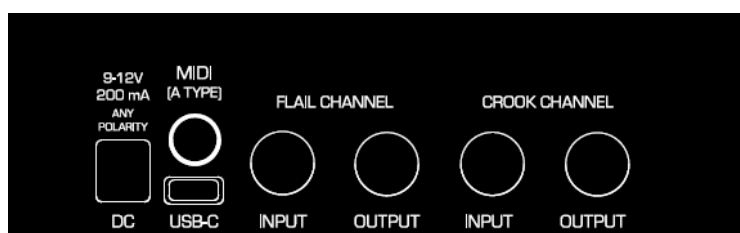
## 基本情報

### 電源

Ozymandias は 9V~12V の DC 電源を必要とします。極性は問いません。+/-センター電源に対応しています。Ozymandias は最大 200mA の電力を消費します。



### 入出力



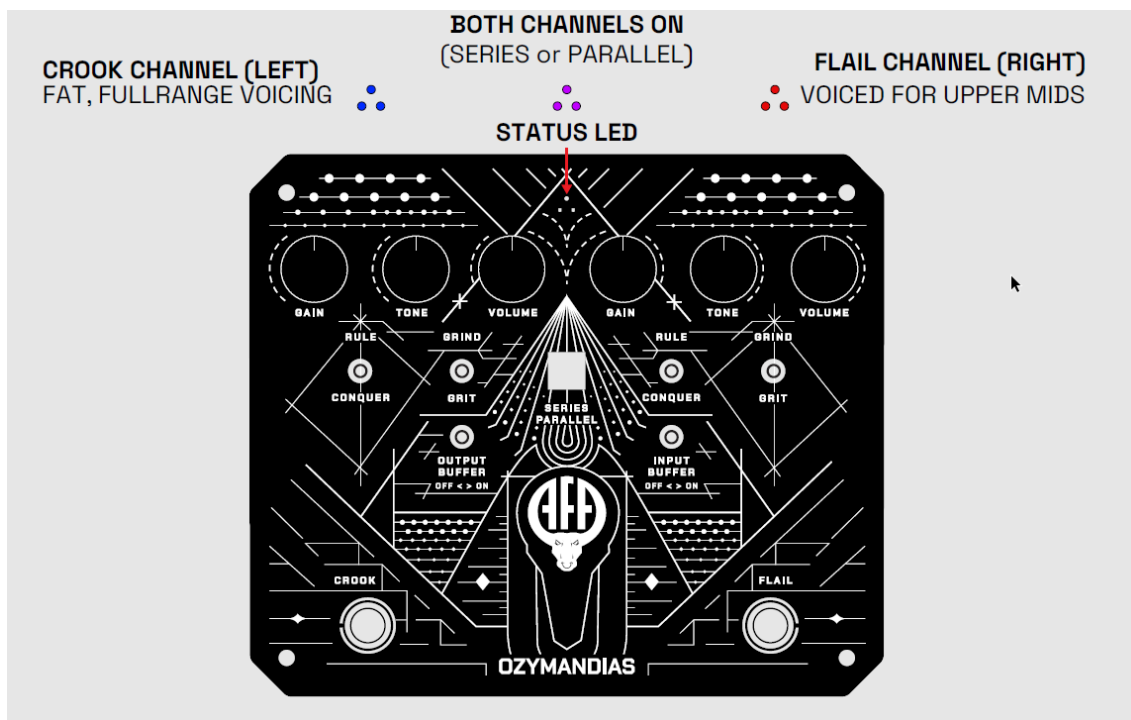
電源: 9~12V DC 入力(極性は問いません)。

USB-C: USB-C 経由で電源を供給します。ファームウェアのアップグレードにも使用します。

**重要:** ペダルにコンピューターから電源を供給しないでください！さらに、USB 充電器は高品質の電源に比べてノイズが多くなります。低品質の充電器はさらにノイズが大きくなります。使用状況によって動作に差があります。

- ・INPUT A: 1/4" TS ケーブル、チャンネル A の入力です。
  - ・OUTPUT A: 1/4" TS ケーブル、チャンネル A の出力です。
  - ・INPUT B: 1/4" TS ケーブル、チャンネル B の入力です。
- ケーブルが接続されていない場合、この入力は Series モードでは OUTPUT A に、Parallel モードでは INPUT A に内部接続されます。
- ・OUTPUT B: 1/4" TS ケーブル、チャンネル B の出力です。
  - ・MIDI: 1/8" Type-A MIDI ケーブル対応の TRS 入力です。

## コントロール



CROOK チャンネル(左): ファットでフルレンジのボイスングです。LED は ●● です。

両方のチャンネルがオン(直列またはパラレルです):LED は ●● です。

FLAIL チャンネル(右): アップーミッドが強調されたボイスングです。LED は ●● です。

## ノブ

- ・GAIN: ゲインコントロールです。上げれば歪みが増し、サウンドが激しくなります。
- ・TONE: 高音域をカットします。CROOK チャンネルではより暗くなります。
- ・VOLUME: チャンネルの出力レベルを設定します。

## スイッチ

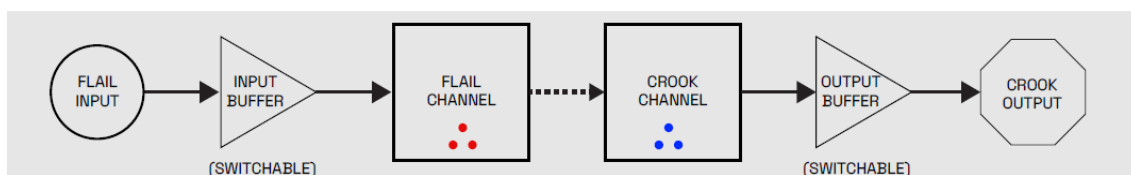
- ・フットスイッチ: 各サイドのドライブ回路の ON/OFF を切り替えます。
- ・SERIES / PARALLEL: 直列接続と並列接続を切り替えます(詳細は次ページ)。
- ・INPUT BUFFER: 入力信号をバッファします(FLAIL 入力のみ)。長いケーブルを接続する場合に便利です。ON にすると、ペダルはトウルーバイパスではなくなります。
- ・OUTPUT BUFFER: 出力信号をバッファします(CROOK 出力のみ)。パワーアンプ、ミキサー、インターフェースなどの低インピーダンス入力の駆動に便利です。
- ・GRIND / GRIT: (クリッピング)  
3 種類のクリッピング設定から選択します。
- ・GRIT: ソフトクリッピングです。ぼやけた、非対称なクリッピングになります。高域が明確にクリッ

プされます。

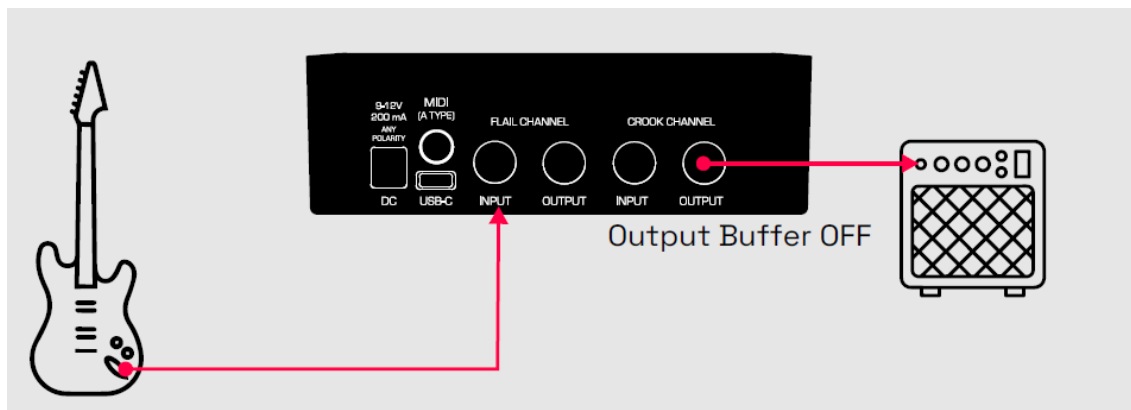
- ・OFF: ペダル本来の自然なクリッピングです。
- ・GRIND: ハードクリッピングです。非対称の LED リミッティングになります。
- ・RULE / CONQUER: RULE は低音を増強し、CONQUER はさらに増強します。
- ・SERIES / PARALLEL: SERIES(直列)と PARALLEL(並列)切り替えるスイッチです(詳細については次項をご覧ください)・
- ・INPUT BUFFER: 入力信号に対してバッファをオンにします (FLAIL インプットのみ)。長いケーブルを使っているときに有効です。ただしオンにするとペダルはトゥルーバイパスではなくなります。
- ・OUTPUT BUFFER: 出力信号に対してバッファをオンにします (CROOK アウトプットのみ)。ローインピーダンス入力の機器 (パワーアンプ、ミキサー、インターフェースなど) に接続するときに有効です。

## ルーティング : SERIES

SERIES モードでは、FLAIL チャンネルの出力が CROOK チャンネルの入力に内部接続されます。下図のような表示になります。



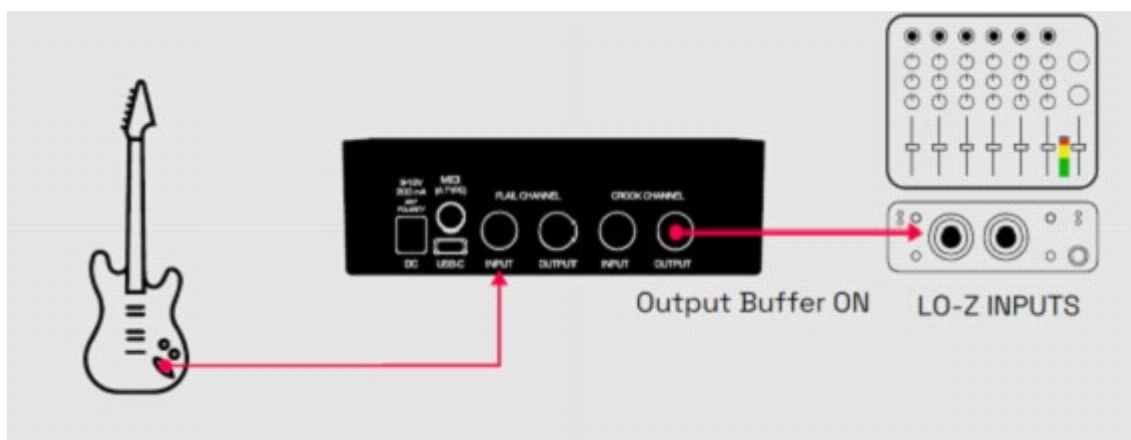
CROOK 入力に何かが接続されている場合、この接続は切断されます。



上記の設定では、ギターは両方のチャンネルを直列に接続して出力されます。FLAIL チャンネルの出力は、CROOK チャンネルの入力に内部ルーティングされます。この設定は、スタックオーバードライブサウンドに最適です。

ペダルを他のペダル、ギターアンプ、またはその他の高インピーダンス入力に接続する場合は、

出力バッファをオフにすることをお勧めします。オンにすると、不要な雑音やフィードバックが発生する可能性があります。

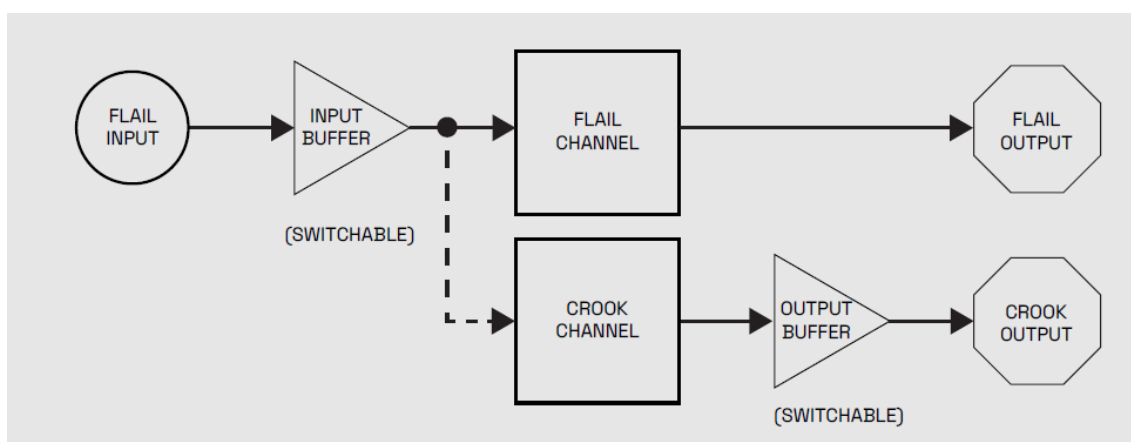


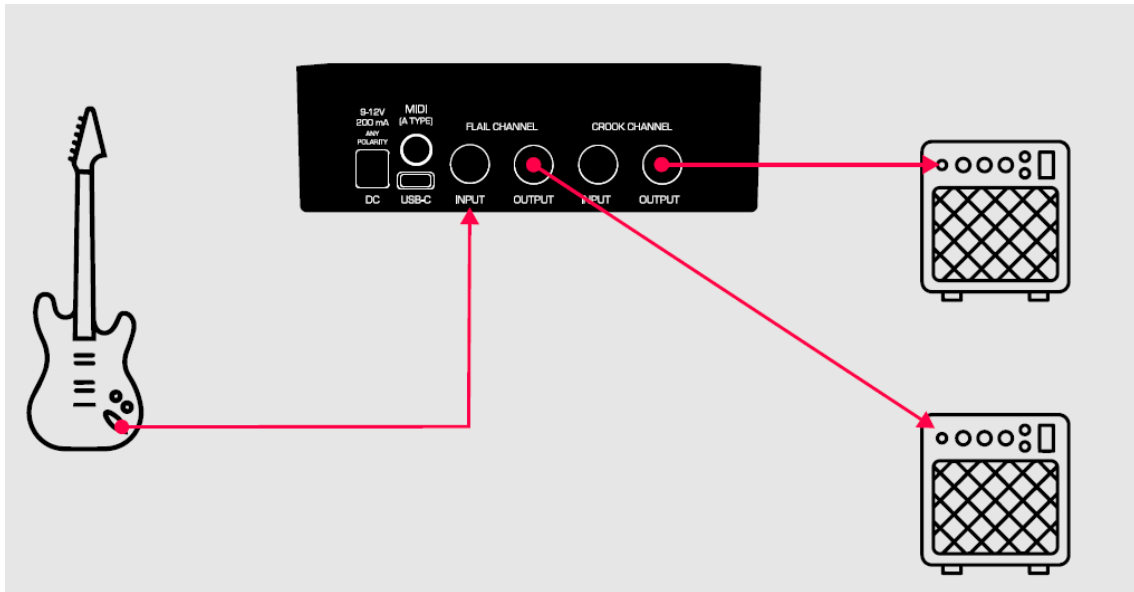
一部のサウンドカード、パワーアンプ、ミキサーなど、低インピーダンスのライン入力を接続する場合は、出力バッファをオンにしてください。この場合、出力が非常に大きくなる可能性があることに注意してください。クリッピングや入力の損傷を防ぐため、ボリュームレベルを低目に設定してください。

注：バッファをオフにした場合でも、Ozymandias は真のトゥルーバイパスではありません。各チャンネルはリレー式のトゥルーバイパスを備えています。しかし、SERIES モードでは、FLAIL 出力と CROOK 入力の間がわずかにパッシブ減衰します。これにより、不要なフィードバックや雑音を防ぎます。

### ルーティング：Parallel

パラレルモード(四角が点灯)では、Ozymandias を 2 つの独立したペダルとして扱うことができます。CROOK 入力に何も接続されていない場合、内部で FLAIL 入力に接続されます。





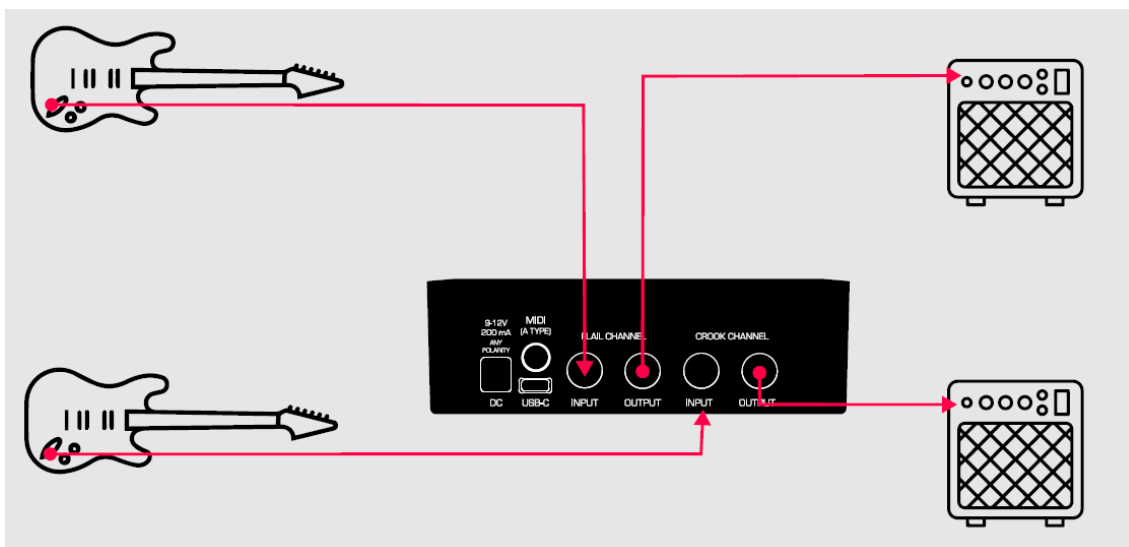
これにより、1本のギターを平行モードを通して各ドライブステージに送り、それぞれのドライブ回路の出力を異なるアンプに送ることができます。

**重要:**

このモードは、1つの入力 (FLAIL) から2つの出力を駆動するように設計されています。平行モードでは、CROOK 入力は内部スイッチによって接続されなくなります。音量が減少する場合があります。

CROOK 入力を使用する場合は、シリーズモードを使用してください。詳細は次のページをご覧ください。

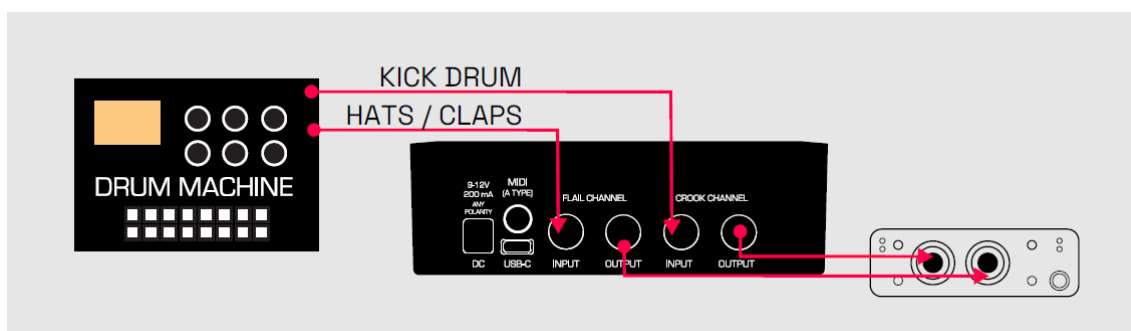
## ルーティング：使い方のヒント



バンド仲間とハーフサイズで演奏したいですか？ 大丈夫です。理論上、2本の楽器をペダルにルーティングできます。そのためにはシリーズモードを使用してください。

注：セットアップによっては、グラウンドループが発生する可能性があります。

図はギターですがギターだけに限定する必要はありません。以下の例は、個別/グループ出力を備えたドラムマシンを処理する方法の一つです。

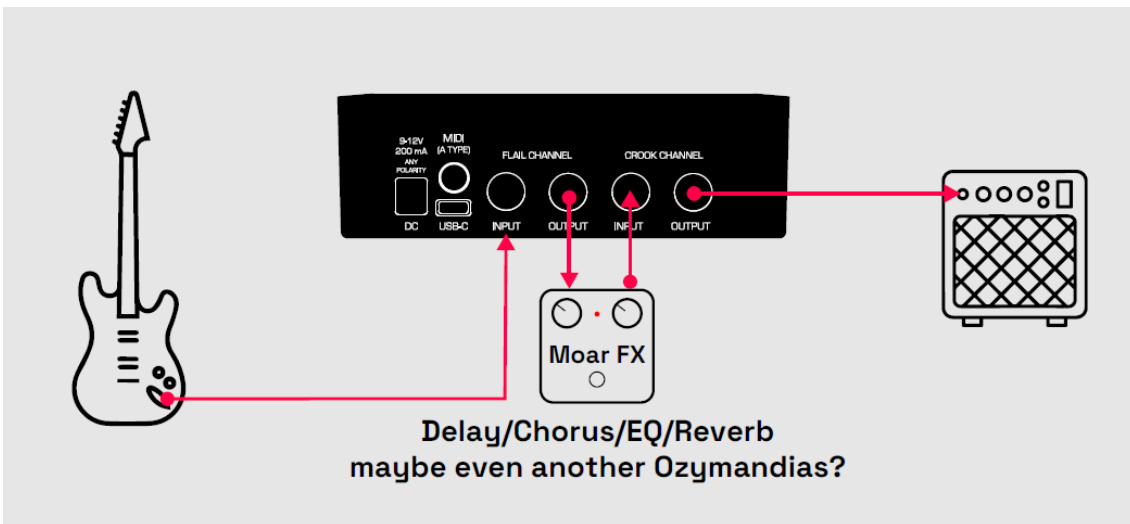


設定を調整することで、ステレオ楽器も扱うことができます。2つのチャンネルが完全に同じになることはありませんが、調整することで非常に近いサウンドを得ることができます。



### ルーティング：使い方のヒント

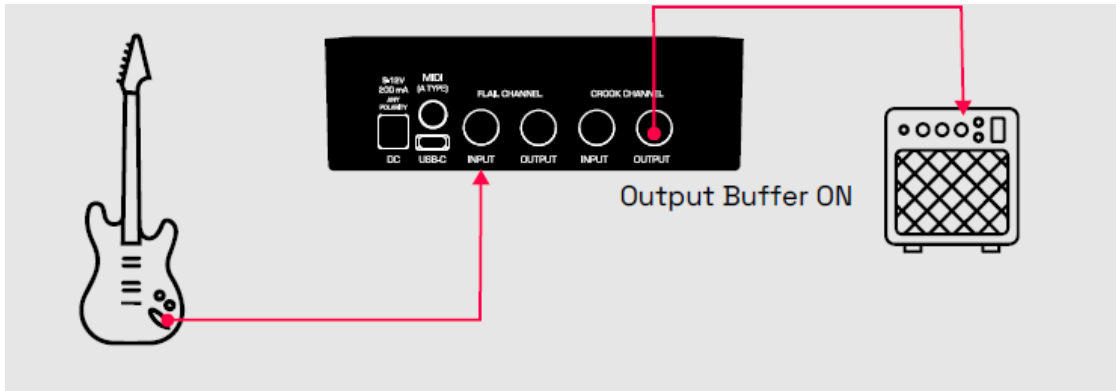
FLAIL チャンネルをフルボアのディストーション回路として使い、その信号を他のエフェクトに送り、CROOK チャンネルでファットなクリーンブーストを加えるのはいかがでしょうか？



ディレイ／コーラス／EQ／リバーブなどを接続してみましょう。また、もう 1 台の Ozymandias を接続するという手もあります。

OUTPUT BUFFER をオンにすれば、パワーアンプを直接ドライブできます。特に低インピーダンス入力で便利ですが、真空管パワーアンプにもこのペダルは最適です。

**警告：出力レベルにご注意ください。Ozymandias は最大出力で 20V 以上のピークツーピーク電圧を出力する場合があります。アンプ、エフェクトペダル、真空管の溶解、スピーカーの破損、その他いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。**



Buffer をオンにすれば、プリアンプをバイパスして、直接パワーアンプをドライブできます。

## MIDI インプリメンテーション

Ozymandias は、Type-A 3.5mm MIDI ポートを介して MIDI 信号を受信し、ペダルの MIDI チャンネルはチャンネル 4 に設定されています。ペダルが応答する CC は以下の通りです。

	機能	CCナンバー	値
FLAILチャンネルのバイパス	FLAILチャンネルを有効/無効	6	64を超えると有効に、64未満の場合は無効に
CROOKチャンネルのバイパス	CROOKチャンネルを有効/無効	7	64を超えると有効に、64未満の場合は無効に
SERIES / PARALLEL	SERIES / PARALLEL機能を有効/無効	8	64を超えると PARALLELに、64未満の場合はSERIESに

## お手入れ

Ozymandias を最良の状態に保つための注意事項をいくつかご紹介します。

1. ファームウェアのアップグレード中は、問題を回避するため、DC 電源を接続する前に USB-C ケーブルを接続してください。
2. Ozymandias は楽器用のエフェクターです。他の用途で使用しないでください。
3. 清掃する必要がある場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。溶剤の使用は避けてください。
4. 12V 電源以外で電源を供給しないでください。
5. 各ペダルは、少量生産で一つ一つ手作業で仕上げ、組み立てられています。各ペダルの外観上の問題がないか入念に検査しておりますが、外観上の些細な欠陥や不具合は避けられません。

## 環境について

- ・このペダルの部品を家庭ごみとして廃棄しないでください。
  - ・電子機器は、お住まいの国の電子機器廃棄基準に従って安全に廃棄してください。
  - ・このペダルは鉛フリーはんだを使用して製造されており、RoHS 指令に準拠しています。
  - ・私たちは、耐久性と高い保守性を重視して製造しています。このペダルは、最低 2.5mm の厚さのダイキャストアルミニウムとアルミニウムシートで作られています。
- 私たちは環境への影響を軽減するために常に努力しています。製品のすべての部品とパッケージは、プラスチックの使用を最小限に抑えるように設計されています。
- 箱とベルベットバッグは、他のものを安全に保管するために再利用してください。

## 技術仕様

- ・電源: 9~12V、最低 250mA を推奨。センターマイナスまたはセンタープラス。
  - ・USB-C 電源: 高電流対応 (2.4A 以上) の最新アダプターを推奨。
  - ・重量: 500g / 1.1lb
  - ・入力インピーダンス: SERIES モード: 公称 1M $\Omega$ 、Parallel モード: 公称 470k $\Omega$
- 全モード、入力バッファ ON: 公称 1M $\Omega$
- 出力インピーダンス: 両出力、出力バッファ OFF: <10k $\Omega$  (フルボリューム)
- 両出力 (両チャンネルバイパス)、入力バッファ ON: 100 $\Omega$
- CROOK 出力、出力バッファ ON: 100 $\Omega$

## ヒストリー

このペダルの名前「Ozymandias」は、エジプトのファラオ、ラムセス 2 世の古代ギリシャ名です。彼は史上最強のファラオとされ、エジプト王国を築き上げ、帝国規模の王国へと拡大しました。彼は P.B.シェリーの同名の詩の中で不滅の名を残しています。

「我が名はオジマンディアス、万王の王。汝ら力強い者よ、我が業を顧みず、絶望せよ！」

このペダルは 2013 年に、あるデュアルオーバードライブからインスピレーションを得て初めて構想されました。オリジナルを入手できなかったため、私たちは耳を頼りに、ボルテージダブラー、低インピーダンスグラウンドリファレンス、そしてチャンネルごとに異なるボイスイングなど、興味深い工夫を加えました。タイラーボームのアートワークが施されたハンドエッチングユニットはわずか 5 台のみ製造されました。

Ozymandias はお蔵入りとなりましたが、FLAIL チャンネルの簡易版が Pit Viper ペダルとして発売され、大成功を収めました。

10 年後の 2024 年、私たちは Ozymandias をさらに完成度が高く、洗練された製品として作り上げ、その名にふさわしい製品になったと確信しています。